

平成18年度 施策評価表

所属 28220000

教育委員会 葛飾図書館

施策	1964 図書サービス							
区分								
対象	区民43万人 区内在学・在勤者及び隣接区市住民は利用登録が可能							
施策意図	多様な方法で、必要な図書サービスを受けられている							
現状と課題	図書館は、全ての区民が利用でき、読書を通じて心の豊かさを求め、学習や生活に必要な資料や情報を入手できる生涯学習施設として重要な役割を果たしている。ITの進歩・経済産業の変化・少子高齢化の進展等により、区民のライフスタイルやニーズは多様化しており、今後もさまざまな層の利用者に応じた図書館サービスを充実していく必要がある。							
成果指標	成果1：図書・資料貸出し年間貸出し点数（図書・雑誌・CD・カセット・ビデオ） 成果2：葛飾区内の図書サービスを利用したことのある区民の割合（マーケティング調査）							
目標達成状況	成果指標1 [万冊]	予定	平成17年度	平成18年度				
		実績	285.00	288.00				
	成果指標2 [%]	予定	31.70	31.70				
		実績	295.00					
	成果指標3 []	予定						
		実績	32.90					
	トータルコスト (千円)	予定		1,002,866				
		実績	1,107,988					
	施策の位置付け	区の関与度合	区中心。図書館は、住民の身近にある学習や生活文化活動を支援する極めて重要な社会教育施設であるため、直接区が関与すべき施設である。					
		区民ニーズへの貢献	大きい。図書館の利用登録者、貸出冊数、予約やレファレンスの件数が年々増加しており、社会教育活動の推進や区民ニーズなどに貢献している。					
成果向上の必要性		向上必要。住民の身近にあって、生涯学習を支援する社会教育施設であることの十分な理解と住民が求める資料情報を迅速かつ容易に応える体制を整備する。						
成果向上の容易性		容易。区内小中学校・図書館間のネットワークやインターネット活用の公立図書館間・大学図書館等との連携、レファレンスを推進し、サービスの充実と利用増を図る。						
位置付け総合評価	拡充。区民のライフスタイルの変化や価値観の多様化から、生涯学習への意欲が高まってきた。また、情報化社会にあってITを活用した情報提供など図書館が果たすべき役割はますます広がってきている。今後、区民の要望に応えられる生涯学習の拠点となるべく、図書館サービスの拡充が必要である。							
施策目的達成のための事務事業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	総合評価	
	196407	ボランティア育成事業（図書館）				5,276	6	
	196401	維持管理（図書館）				206,966	5	
	196402	図書、雑誌、新聞等購入				221,929	5	
	196403	視聴覚資料購入				6,637	5	
	196404	図書等貸出				504,424	5	
	196406	啓発事業（図書館）				65,619	5	
	196410	図書館建設（新中央図書館の建設）				39,068	5	
	196408	オンラインサービス（ITを活用した図書館サービス）				41,111	4	
	196409	図書館報等印刷				15,985	4	
196405	視聴覚ライブラリー（16ミリ映写機貸出、点検）				973	2		

【総合評価】6=拡充/5=継続/4=改善/3=再構築/2=縮小/1=廃止・休止/0=今回評価なし

コスト分析表

年 度 平成18年度

所 属 28220000

施 策 1964

教育委員会 葛飾図書館

図書サービス

期 間 平成17年度 ~ 平成18年度

(単位：千円)

		NO	平成17年度	平成18年度			
予 定	財源内訳	国庫支出金	(1)		0		
		都道府県支出金	(2)		0		
		地方債	(3)		0		
		その他	(4)		3,240		
		一般財源	(5)		919,542		
	直接費	事業費	(6)		323,690		
	職員人件費	人件費	(7)		448,050		
		再雇用職員分	(8)		0		
		(職員数：賦課)	(9)		51.50		
		(職員数：配賦)	(10)				
		職員数合計(9)+(10)	(11)		51.50		
	間接費	(12)		151,042			
	調整額	(加算)減価償却費	(13)		33,047		
		(加算)金利	(14)		687		
		(加算)退職給与引当	(15)		46,350		
		(控除)コスト対象外	(16)		0		
		(控除)雑収入	(17)		0		
	調整額計 (13)+(14)+(15)-(16)-(17)	(18)		80,084			
	トータルコスト (6)+(7)+(8)+(12)+(18)	(19)		1,002,866			
実 績	財源内訳	国庫支出金	(20)	0			
		都道府県支出金	(21)	0			
		地方債	(22)	0			
		その他	(23)	3,143			
		一般財源	(24)	992,005			
	直接費	事業費	(25)	340,323			
	職員人件費	人件費	(26)	541,400			
		再雇用職員分	(27)	16,800			
		(職員数：賦課)	(28)	68.00			
		(職員数：配賦)	(29)				
		職員数合計(28)+(29)	(30)	68.00			
	間接費	(31)	118,150				
	調整額	(加算)減価償却費	(32)	33,047			
		(加算)金利	(33)	1,568			
		(加算)退職給与引当	(34)	56,700			
		(控除)コスト対象外	(35)	0			
		(控除)雑収入	(36)	0			
	調整額計 (32)+(33)+(34)-(35)-(36)	(37)	91,315				
	トータルコスト (25)+(26)+(27)+(31)+(37)	(38)	1,107,988				

施策名	図書サービス
-----	--------

担当課： 葛飾図書館

施策の達成状況

【達成度評価】
 区民のライフスタイルの変化や価値観の多様化から、生涯学習への意欲が高まってきている。また、情報化社会にあってITを活用した情報提供など図書館が果たすべき役割はますます広がってきている。今後、区民の要望に応えられる生涯学習の拠点となるべく、図書館サービスの一層の拡充が必要です。このため蔵書の拡充やインターネット利用、データベースの提供等サービスの拡大を行ってきた。

構成事務事業の施策成果貢献度 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果向上の余地	大	維持管理(図書館) 図書館等貸出 図書館報等印刷 啓発事業 図書、雑誌、新聞等購入	図書館建設(新中央館の建設)	
	中	オンラインサービス ボランティア育成事業 視聴覚資料購入		
	小	視聴覚ライブラリー		
		小	中	大
施策成果への貢献度				

構成事務事業の次年度方向性 (事務事業を相対評価し、該当する位置に記載)

事務事業の成果の増減方向	向上	図書館報等印刷 図書資料等提供 オンラインサービス	ボランティア育成事業	維持管理(図書館) 図書館建設(新中央館の建設) 啓発事業
	維持		子ども読書活動推進	
	減少		視聴覚ライブラリー	
		減少	維持	増加
事務事業のコストの増減				

【次年度方向性の考え方】
 今後も、子どもから高齢者や障害者を含む全ての区民が利用でき、様々なサービスが受けられるように、執行体制の見直しを図りながら充実させていく。